

外国人支援・多文化共生ネット報告会 団体紹介（No. 9）

名称：特定非営利活動法人 可児市国際交流協会

活動分野：多文化共生

代表者：理事長 渡邊 孝夫

住所：〒509-0203

岐阜県可児市下恵土 1185-7

TEL：0574-60-1200 /FAX：0574-60-1230

活動エリア：主に岐阜県内

設立年：2000年5月20日

MAIL:npokiea@ma.ctl.ne.jp

URL：http://www.ctl.ne.jp/~frevia

活動方針： 国籍や文化・社会環境の異なる人々も、ひとしく平和に共生できる地域社会の実現を目指して、地域の人々がともに協力し合い、国内外の人々と共に交流し、学びあい、協働活動を行うことを目指す。

活動概要：・可児市多文化共生センターの管理運営事業

（日本語学習支援、情報提供、外国人相談窓口、交流の場の提供）

・多文化共生にかかわる事業（日本語指導者支援、多文化共生交流活動、子どもの就学支援活動、国際理解・語学学習活動、通訳・翻訳事業、情報交流・発信、各種関連団体との連携協働活動等）

提言： 外国人住民が自分らしく生きられるよう受け入れの整備

具体的には、日本語教育を必ず受けるよう義務化する

日本に暮らすすべての子どもの義務教育化

高校入試に関する外国人枠、措置など地域格差をなくしてほしい

夜間中学の設置に対する予算措置

活動報告 1 可児市多文化共生センターフレビア指定管理事業

1) 外国人相談窓口 9:00～18:00 ポルトガル語、フィリピン語、英語、スペイン語、やさしい日本語、社会福祉協議会の臨時給付金相談、災害時多言語支援センター設置訓練

2) 日本語教室の実施（文化庁事業と合わせ実施）3) 交流の場

4) 情報提供 フレビアだより毎月発行、facebook、HP

4月、5月は相談窓口対応のみ開館。外国人市民の経済的な相談が増加

活動報告 2 多文化共生にかかわる事業

1 通年で実施しているもの

1) 地域日本語支援者養成講座：外国人集住地の日本語開設に向けた支援者の養成研修

2) 地域多文化共生人材育成事業【文化庁委託事業】

・日本語教室 市環境課の出前講座や防災ワークショップ、防災まちあるきなど

3) 子どもの語学学習 4) 相互理解のための語学学習活動 5) 通訳・翻訳活動

6) 地域日本語支援教育支援事業

・文化庁地域日本語スタートアップ事業地域日本語教育アドバイザー

・坂祝町文化庁事業コーディネーター業務再委託

・岐阜県国際交流センター事業地域日本語教室アドバイザー派遣事業

7) 地域グローバル人材育成事業【岐阜県国際交流センター助成事業】

・学校での支援を考える研究会

加茂高等学校定時制 ビジネスマナー研修 東濃高等学校 校内研修

制服リサイクル活動協力、キャリア教育授業協力

今年度は、土田・今渡地区での日本語教室開設に向けた指導者養成講座を実施し、地域との連携を意識して活動した。高校とも連携して支援する体制が固まった。



2 定住外国人の子どもの教育支援 通年で取り組んでいる支援教室

1) 定住外国人の就学促進事業【可児市委託】

①定住外国人の高校進学支援「さつき教室」の実施日本語及び教科指導、入試支援、進路ガイダンス
キャリア教育、地域交流、交流授業：愛知淑徳大学、中部学院大学、岐阜市立女子短期大学

②不就学・不登校・自宅待機の子の就学支援「ゆめ教室」不登校傾向の子の「ゆめスマイル」

③就学前準備指導「ひよこ教室」対象：未就園年長児集団生活や日本語の理解

フィリピン認可外保育所の子と日本語や学校のルール学習、給食体験、防災訓練など実施

2) 岐阜県外国籍の子どもの高校進学支援事業【岐阜県補助事業】

高校進学のための日本語及び教科指導、入試支援、進路ガイダンス、キャリア教育、地域交流

中学校卒業程度認定試験対策クラス 在住ブラジル人等の子どもの日本語と学習指導

3) 子どもの日本語

- ・「きぼう小学生クラス」国語と算数基礎学習&「きぼう中学生クラス」ドリル学習や受験対策
- ・年少者の日本語「おひさま教室」保育園・幼稚園につなぐ日本語指導

4) 高校進学奨励金の授与

新型コロナウイルス感染拡大の影響などで親が失業し、制服などの準備ができず高校進学を断念
ということがないよう奨学金を1人に対し授与した

今年は、学校の休校日本語がリセットされた子が多く、不登校傾向の子が学校に行けるようになったり、リモートの普及によりネット環境や家庭環境が子どもや日本語学習者の学びに影響した。

新学期に人間関係が断絶された影響は大きいと感じた。

3 地域社会への多文化共生促進事業

1) 多様な文化を活用した地域人財づくり事業【自治総合センターコミュニティ助成】

- ・コミュニケーションワークショップの実施
- ・「多文化共生アート作品展」「ちがうって面白い」アートワークショップ 全5回
三線講座 全12回
- ・先輩として伝えよう自分の今“後輩へのエール”
進路ガイダンスでブースを設け、自分の高校、大学、会社での生活について話す

2) 多文化ソーシャルワーク基礎講座 全5回 リモートとの組み合わせで海外からの参加もあり
青少年の社会性を強化する日本語教室の実施 介護施設への職場体験など実施

3) 災害時ネットワーク構築事業 講演会、HUGゲーム、避難所について考える研修の実施

災害時ネットワーク違憲交換会3回開催 社協、自治会、行政、NPO、地域メディアが災害時の課題について意見交換し、今後の各課題の検討、共有の継続を確認した。

4 団体連携

- ・フレビアを拠点とする演劇ユニット MICHİ、KFO (KANI FILIPINO ORGANIZATION) の活動支援 イベント企画
- ・外国人支援・多文化共生ネットワークの活動協力(岐阜県世話人)
- ・NPO 法人愛伝舎、NPO 法人 MAIKEN 共催事業「体とこころの健康相談会&シャーガス病無料検査」
- ・NPO 法人シェイクハンス共催事業 「多文化子育てサロン」
- ・にじいろ☆キャンプ 協力：NPO 法人 NICE 及び愛知淑徳大学小島ゼミ
白川郷のトヨタ自然学校にてキャリアプログラム

寄付等

大口の奨学金寄付者 3人

公益財団法人博報堂教育財団「博報賞」受賞

ファンケル様、サプリメント、化粧品等 日系ブラジル人配布

高島屋株式会社(昨年度寄付) ランドセル 23人に贈呈

市内有志の方々より お米 10K×80袋 他、お菓子など配布



今年度は、新型コロナの影響で生活様式の変化と外国人住民のクラスターも起き、情報提供の課題と文化の違いや「家族」の概念の違いが大きく浮かび上がった。短い動画を作り配信することで2つの課題解決の糸口とした。他団体との共催が増え、連携やつながることの大切さを実感した。



後輩へのエール 東濃高校ブース



Zoom も併用した日本語教室



就学前準備指導「ひよこ教室」



高校進学支援教室 授業風景



ひよこ教室修了式



高校進学支援教室 面接練習